

‘2018.葉月

シェアサイクル

毎日暑い日が続きます。観光向かな気候ではないこの季節ではありますかが、最近充実しつつあるサービスの紹介です。あたりの街にも普及して欲しいサービスです。

それは「アプリ」です。スマートフォンに専用アプリをダウンロードし、会員登録を行い、決済方法を登録すれば借りることができます。その決済を行ったスマートフォンが鍵になりますので、自分以外は解錠できなくなります。仕組みは自電車に取り付けられたGPS機器によって管理が行われています。

京都市内では「PIPPA（ピッパ）」というサービスがあります。現在、市内の25箇所にポートがあり、これからも増えることでしょう。30分100円で借りることができます。価格もお手頃なので、ちょっと市内散策、買い物、雑誌で見つけたオシャレなカフェ巡りなどに使えそうです。



その次に思いつくのは自転車を借りる「レンタサイクル」。駅前や観光地などに行くとよく見受けられます。1時間、半日、1日単位の価格で借りることができます。値段も安く、なんと言つても手軽です。車と違い移動範囲はすっと狭くなりますが、止めるところにそつは困りません。最近では電動アシスト付きの自転車も登場しておりますが、最近増えてきたサービスは「シェアサイクル」。どちらも自転車を借りるサービスには変わりないのですが、「レンタサイクル」のほとんどは、駅前などのサービスステーションで借り、またそこに返却するという「借りたところに返す」です。

それとは異なり「シェアサイクル」は、アチラコチラに「ポート」と呼ばれる駐輪場があり、「どこかの「ポート」で借りた自転車は、どの「ポート」へ返却してもOK」というものです。

そのポートには貸出を行う「人」はいません。駐輪場に自転車が並んでいるだけ。では、どのようにして借り、解錠するのでしょうか…。ココでも必要になるのは「スマートフォン」です。自転車に「スマートフォン」を「ピッ！」とかざして貸出OKとなります。解錠と施錠は「スマートフォン」で行います。スマートフォンが鍵です。(または申込時に発行される暗証番号など) 但し、ただ「ピッ！」とするだけでは誰でも借りられてしますので、そこはちゃんとシステム化されています。そこで、もう一つ必要



スマートフォンを利用して行うサービスはこれからもまだまだ増えそうですね。普段から色々なアプリや機能を使ってスマートフォンに慣れておきたいものです。スマートフォンがないと始まらない、始められない、そんな時代にどんどんなりつつあります。



教室のWebページは左記アドレスから、スマートフォンからは、QRコードからどうぞ。新聞バックナンバーもご覧いただけます。

<https://pc-iwakura.com/>

次回次回

